

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	24	事例No	18	依頼者	豊田市立根川小学校	実施場所	根川小学校教室
実施対象	根川小学校3年生全員（3クラス、クラス毎に実施）99人						
実施日時	平成31年2月13日（水）①9時55分～10時40分、②10時55分～11時40分、③11時50分～12時35分（1組～3組まで、クラス毎に実施）						
テーマ	海辺の様子が遠くて実感が湧かない児童に、少しでも海辺の様子を知ってほしい						

●依頼内容

海の無い豊田市の小学校の児童が海岸のごみの問題を流域の問題として考えられるようにしたい。事前の学習で、愛知県HPの「カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう」を視聴した上でカードゲームを体験し、海ごみのルーツを探るとともに、このプログラムから学んだことを振り返りながらカッパの清吉へ手紙を書くことで、自分ができることを考えさせたい。海岸の状況について子どもたちが興味深く感じられるように授業をしていただける講師の紹介を依頼された。

●講師：大須賀哲夫氏（環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員）

豊橋市表浜[太平洋側の海岸]でウミガメの実態調査を長く続けられている。豊橋市より委託を受け新任の先生方に対する環境教育の講師を平成10年より20年間され、豊橋市アカウミガメ実態調査員として平成4年より調査・啓発活動を推進されている。流域全体から流出したごみが海岸へ漂着している実態と海岸に産卵するために上陸するウミガメの生態を紹介でき、今回の依頼に対する講師として適任。

●授業の内容：基本的な構成は3クラス共通（子どもたちとのやり取りで違いはあった。）

座学	講師の自己紹介等	講師の自己紹介を行いながら、ウミガメが上陸する豊橋市の表浜海岸（太平洋に面する海岸）を毎日観察していることを紹介。また、特にこのエリアではアカウミガメを観察していることを紹介	5分
	ウミガメの生態特性	ウミガメの特性について項目を整理しながら紹介 ・ごみ（コンビニの袋等）をクラゲと間違えて誤食するという実態 ・産卵時の特性（卵時の生態や産卵後の足跡の軌跡等を写真で紹介）	25分
	海岸の実態と質疑応答	ウミガメはごみの無いきれいな海岸に上陸して産卵するため、豊橋市の海岸では清掃活動が行われていることを紹介したうえで、ウミガメや海岸に関する質疑応答の時間を設け、子どもたちから質問を受けながら、写真等による追加の説明が行われた。	15分

●授業の様子

授業はパワーポイントを使った座学で進められました。海岸の様々な様子を写した写真が紹介され、なかには船のスクルー等によってケガをしたカメの様子を写したものもあり、子どもたちにはインパクトのある内容でした。また、ウミガメは産卵前後の足跡の様子からその種類を判別できることや、カメの雌雄の違いなど興味深い写真も紹介されました。事前に行われた「カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう」（県環境学習プログラム）の内容とつながる、海岸の清掃活動が紹介され、わかりやすい授業になりました。

講師の自己紹介も兼ねた海岸の様子の紹介



ウミガメの特徴についての質疑応答

